

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-28242

(43)公開日 平成11年(1999)2月2日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 1 H 39/04

識別記号

F I

A 6 1 H 39/04

M

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平9-220597

(22)出願日 平成9年(1997)7月11日

(71)出願人 597087310

平野 利雄

愛知県豊田市司町2丁目6番地1号

(72)発明者 平野 利雄

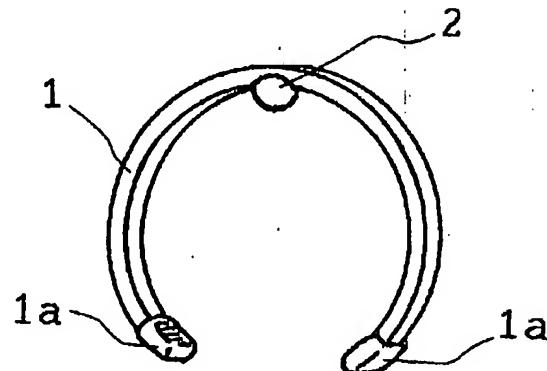
愛知県豊田市司町2丁目6番地1号

(54)【発明の名称】 頭部専用ツボ押し器

(57)【要約】

【課題】 手技による人体頭部のツボ刺激は、術者が疲労するなど効率が悪い。

【解決手段】 人体頭部に装着する為のC字型の輪形体1に、頭のツボを刺激する為の突起体2を装着する。輪形体1を頭に装着して、突起体2をツボに宛てがうことにより、手を使わず持続的かつ効果的に、人体頭部のツボを刺激することができる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】人体頭部に装着する為のC字型の輪形体1に、頭のツボを刺激する為の突起体2を装着した事を特徴とする頭部専用ツボ押し器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、人体頭部のツボを持续的に刺激する、頭部専用ツボ押し器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】東洋医学（中国医学）では、「氣」（エネルギー）の流れる道筋を経絡、その体表の点をツボ（経穴）と呼び、ツボを刺激することで「氣」の流れを良くして身体を健康にする事を目的としている。

【0003】人体頭部にも数多くのツボが存在し、民間療法では指圧、マッサージ、イボ状の突起の付いた刺激具による刺激などが試みられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】頭部のツボは、軽い圧力で長時間の刺激が効果的であるが、手技による刺激では術者が疲労する等の問題がある。

【0005】本発明は、人体頭部のツボを持续的かつ効果的に刺激できる、頭部専用ツボ押し器を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1による頭部専用ツボ押し器は、人体頭部に装着する為のC字型の輪形体に、頭のツボを刺激する為の突起体を装着した事を特徴とする。

【0007】このように構成される本発明の頭部専用ツボ押し器は、C字型の輪形体を頭に装着して、突起体をツボに宛てがうことにより、手を使わずに持续的に人体頭部のツボを刺激し得ることとなる。

【0008】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施例を図面を参考しながら説明する。図1に示すものは、C字型の輪形体1に、突起体2を装着している。輪形体1と突起体2は、一体構造にても良い。図2は、人体頭部に装着した状態図である。

【0009】輪形体1は、ゴム、プラスチックなどの合成樹脂、木、竹、革、金属等の材料からなり、頭に装着しても落ちない様に、少しの力で輪を広げる事が出来るくらいの弾力性をもたせたほうが良い。又、頭に装着しやすい様に、多少の曲がり部や直線部が有っても良い。

【0010】輪形体1には、頭から外れにくくする為、滑り止め1aを取り付けたり、滑り止め加工しても良

い。

【0011】通常、輪形体1は頭の左右方向に装着するが、前後方向に装着しても良い。

【0012】突起体2の材料は、ゴム、プラスチックなどの合成樹脂、木、竹、革、金属、石、陶磁器、永久磁石等からなる。突起体2の本体と、実際に皮膚に接触する接触部2aとは、材料が異なっても良い。

【0013】輪形体1に装着する突起体2の位置を変えることができる様に、輪形体1に複数の突起体取り付け穴1bをあけたり（図3）、スライド機構を備えても良い。

【0014】突起体2の本体と接触部2aの連結にはゴム、スポンジ、スプリング、板ばね等の弾性体2bを使用し、ツボの押し圧を調整できる様にしても良い。（図3）

【0015】接触部2aの形状は、球状、凸状、複数のイボ状、平面状などで、皮膚に傷をつけないものとする。

【0016】また、複数の突起体2を輪形体1に装着、加工しても良い。

【0017】更に、図4に示す様に、2個以上の輪形体1を輪の両端部で連結させて、より多くのツボを同時に刺激できる様にしても良い。

【0018】

【発明の効果】本発明は上述の様に構成され、頭部専用ツボ押し器を頭に装着して、突起体をツボに宛てがうことにより、手を使わずに持续的に人体頭部のツボを刺激する効果を奏するものである。

【0019】更に、本発明の頭部専用ツボ押し器は、構成が単純である為大量生産に適し、低価格で、需要者に供給できる等、本発明を実施することは、その実益的価値が甚だ大なるものがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明、頭部専用ツボ押し器（ツボ押し器）の斜視図である。

【図2】 ツボ押し器を、人体頭部に装着した状態図である。

【図3】 ツボ押し器の実施例、突起体部分の拡大図である。

【図4】 ツボ押し器の実施例、2個の輪形体を連結した斜視図である。

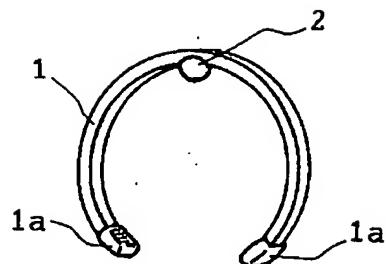
【符号の説明】

1…輪形体 1 a…滑り止め

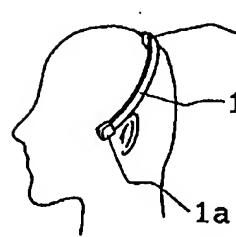
1 b…突起体取り付け穴

2…突起体 2 a…接触部 2 b…弾性体

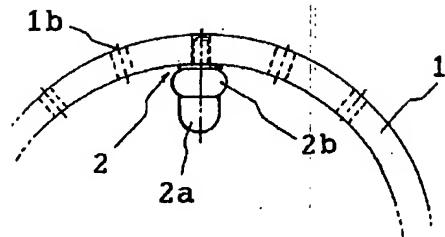
【図1】



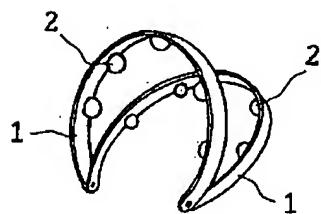
【図2】



【図3】



【図4】



PAT-NO: JP411028242A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11028242 A

TITLE: ACUPRESSURE DEVICE EXCLUSIVELY FOR HEAD

PUBN-DATE: February 2, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HIRANO, TOSHIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HIRANO TOSHIO	N/A

APPL-NO: JP09220597

APPL-DATE: July 11, 1997

INT-CL (IPC): A61H039/04

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem with the use of manual techniques in stimulating pressure points on the head of the human body that it is not effective as it fatigues the doctor.

SOLUTION: A projection 2 for stimulating pressure points on the human head is attached to a C-shaped ring 1 for wearing on the human head. By wearing the ring 1 on the head and applying the projection 2 to pressure points, the pressure points on the human head can be stimulated continuously and effectively without using hands. The ring 1 may be provided with an antislip element 1a or made antislip so that it is not easily undone from the head. The ring 1 may be pierced with a hole for mounting a plurality of projections or provided with a slide mechanism so that the position of the projection 2 attached to the ring 1 can be varied.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO